

令和6年度 第2回 豊田市猿投台地域会議 会議録

開催日時	令和6年6月20日(木)	開会	閉会
		午後7時	午後8時20分
会場	猿投台交流館1階 多目的ホール		
出席者	地域会議委員：18人		
	会長：伊藤 昌明 副会長：河合 好金		
	委員：井口 俊一 加藤 明彦 北川 勝男 呉山 永石 古賀 親 三田 美恵子 清水 有樹 末廣 洋兒 鈴木 光司 外輪 ルリ子 塚本 政幸 中根 秀樹 原田 千枝美 春木 俊弘 藤中 佐織 本多 謙二		
欠席者	1名(伊藤 正史)		
傍聴者	なし		
事務局	猿投支所：広瀬支所長、梅村副支所長、古橋主査		
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 豊田市民の誓い(唱和) 2 会長あいさつ 3 令和7年度以降の地域課題解決事業について 4 令和6年度の地域課題解決事業について 5 情報共有・事務連絡 		

■議事(要約)

3 令和7年度以降の地域課題解決事業について

- ・事務局より資料に基づき説明
- ・交通政策課(以下、交通)よりカーシェアリングの仕組みや取組事例について紹介

委員：事故時の対応はどのようなか。

交通：車両が加入している任意保険で対応する。保険商品や保障内容は団体に決めて頂くことができる。

委員：ドライバーの人選方法はどのようなか。

交通：団体のルールを決めることになる。例えば75歳以下であることや事故歴などを条件にすることができる。

委員：以前、とよたファミリーサービスクラブという団体が、自家用車を使って高齢者の買い物や病院の送迎を支援していたと思う。自家用車の方がよいのではないか。

委員：カーシェアリングを実施するにあたって、市からの助成はあるのか。

交通：補助制度については、現在、検討中である。

委員：区域の広さなど、地域ごとに状況は異なると思うがどうか。

交通：おっしゃるとおりである。この仕組みでは、ニーズ調査やテスト運行をしながら地域の状況を踏まえて本格運行に移行する。また、区域が広すぎるとカーシェアの仕組みが成り立たない。

顔の見える関係の中で実施するものであり、市として、カーシェアリングを行ってほしいとお願いするものではない。

委員：水源カーシェアさくら会の組織体制について伺いたい。

交通：区長がドライバーになっていたりはあるが、自治区ではなく、あくまで住民有志が組織となり、行っている。

委員：ニーズがなければ実施する意味がない。地区でニーズがあるかどうかをしっかり確認する必要がある。

委員：歩行での防犯パトロールに関し、以前は市より、のぼり旗の支給があった。自分の自治区では、夜間に歩いて防犯パトロールを行っていることもあるので、ぜひ以前のようにのぼり旗の支給をお願いしたい。

4 令和6年度の地域課題解決事業について

・事務局より資料に基づき説明

委員：対象地区はゾーン30エリアにもかかわらず、無法地帯となっている。特に朝晩の交通量はどうか。

委員：毎朝晩家族の送迎に使っているが、交通量は非常に多い。

事務局：整備に向けた協議状況を随時報告していく予定。

5 情報共有・事務連絡

(次回の予定)

日 時：令和6年7月18日（木）午後7時から

場 所：猿投台交流館1階 多目的ホール